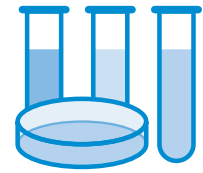


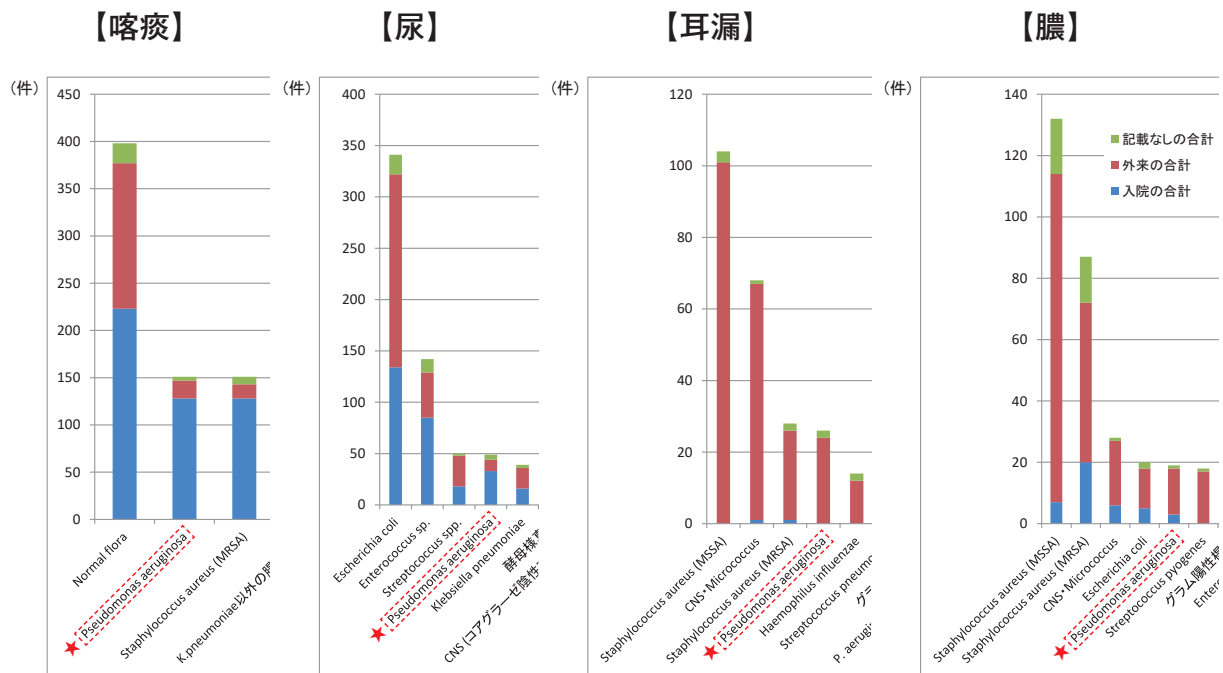
細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)



当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、喀痰、尿、耳漏、膿から多く検出されている、Pseudomonas aeruginosa(緑膿菌)の細菌検出状況と細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

【細菌検出状況】



★Pseudomonas aeruginosa (緑膿菌)

Pseudomonas aeruginosa (緑膿菌)は、毎月の喀痰、尿、耳漏、膿の細菌検出状況で上位の検出菌です。緑膿菌は、グラム陰性桿菌の一種で土壌や水中、植物、動物など自然環境に存在している常在菌です。緑膿菌は毒性が低いため、健康な人は緑膿菌がいても感染することはありません。しかし、免疫力の低下している人は、緑膿菌に感染して様々な感染症を起こします。

【細菌薬剤感受性情報】

2018年 6月分

アンチバイオグラム (肺炎球菌)

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	PIPC	ペントシリン	91	0	9
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CMX	ベストコール	8	92	0
	CAZ	モダシン	82	12	7
	CZOP	ファーストシン	94	4	2
	CFPM	マキシピーム	89	8	3
カルバペネム系	IPM	チエナム	68	5	28
	MEPM	メロペン	77	7	16
	DRPM	フィニバックス	79	14	7
	BIPM	オメガシン	74	14	11
その他β-ラクタム系	AZT	アザクタム	62	20	18
	S/C	スルペラゾン	75	18	7
	T/P	ゾシン	84	8	9
アミノグリコシド系	AMK	アミカシン	99	1	0
	TOB	トブラシン	96	0	4
	DKB	パニマイシン	100	0	0
	GM	ゲンタシン	96	0	4
	ISP	イセパシン	84	13	2
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシン	0	1	99
その他抗菌薬	FOM	ホスミン	21	16	62
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	65	7	28
	TFLX	オゼックス	57	8	35
	CPFX	シフロキサ	66	5	29
	NFLX	バクシダール	92	4	4
	PZFX	パシル	62	7	31

多剤耐性緑膿菌 (MDRP) は、カルバペネム系 (IPM)、合成抗菌薬 (CPFX)、アミノグリコシド系 (AMK) の3薬剤に耐性を示すと定義されています。上記の薬剤感受性結果では、IPMとCPFXは約3割が耐性を示していますが、AMKの耐性はありません。その結果、6月の多剤耐性緑膿菌は検出されていません。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況についての情報をご覧いただけます。

<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>
検査科微生物係